

第1回

How Do We Archive Footage of Survivors' Testimonies?

# 証言映像アーカイブ研究会

伊藤孝司氏が元日本軍「慰安婦」に取材した際の録音・録画テープ



## 講演

### 「取材した800人の証言をどう残すのか」

講師：伊藤孝司さん

(写真家・ジャーナリスト)

#### プロフィール

1952年長野県生まれ。元日本軍「慰安婦」や朝鮮人被爆者、サハリン残留朝鮮人をはじめ、アジア・太平洋戦争と植民地支配の被害を受けた人びとをアジア各地で長年取材。その800人に及ぶ膨大な証言記録は、2025年に「女たちの戦争と平和資料館(wam)」に一部寄贈された。主な著書としては『朝鮮で見た〈日本〉——知られざる隣国との絆』（岩波書店、2019年）、『原爆棄民——韓国・朝鮮人被爆者の証言【増補改訂版】』（論創社、2025年）、『サラソ波乱の海を越えて——韓国・朝鮮で生きる日本人女性たちの物語』（風媒社、2025年）などがある。

## 特別公開

「金学順さんの証言（未編集音源）」（1992年、伊藤孝司録音、15分）

「魯農淑さんの証言（未編集映像）」（2002年、伊藤孝司撮影、30分）

2026. 2. 21 [sat.] 14:00-16:30

立命館大学国際平和ミュージアム 2階 セミナー室 1

※事前申込不要・参加費無料でどなたでもご参加いただけます。



立命館大学国際平和ミュージアム  
Kyoto Museum for World Peace, Ritsumeikan University

主催：立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター証言映像アーカイブ研究会  
協力：立命館大学コリア研究センター  
連絡先：io1025-a@st.ritsumeikan.ac.jp（代表：大月）